

垣生地区タウンミーティング(要約)

平成25年11月24日(日曜日)

【市長】 皆さんこんにちは。日曜日の2時という時間帯でございまして休日おくつろぎのところだと思いますけれども、このようにたくさんの方がお集まりをいただきましてありがとうございます。また大変お忙しい中このタウンミーティングの受け入れにご協力をいただきました垣生地区まちづくり協議会準備会の会長さんをはじめ役員の皆様方には受け入れをご快諾いただきましてありがとうございます。さて先ほど司会からも申し上げましたようにこのタウンミーティングはもう2巡目に入っています。松山市は旧北条地区また旧中島町をあわせて41地区に分かれるんですけども、その地区ごとにやっぱりお困りの点もあるでしょうし、課題もあると思いますし、それぞれの地区でまた逆に魅力もあると思います。そういうお困りの点など我々が市役所で待ってるのではなくて、地区に出かけさせていただいて聞かせていただこうと。そのほうが絶対にいいに違いないと思ひまして就任以来始めさせていただいておりますのがタウンミーティングでございまして。例えばガス抜きだったりパフォーマンスでやっているんであったら1巡で終わっていたと思うんですが、私は行政と皆さんの距離をもっと近いものにしていきたいと思っております。ですので2巡目のタウンミーティングに入らせていただいております。また皆さんの声を聞かせていただいております。またモットーとしているのがやりっぱなしにはしない、聞きっぱなしにはしない、ここで答えできるものについてはできるだけここで答えをして帰ります。ただ財政的な問題があるものとか国や県と絡むものについてはいったん持ち帰らせていただいて1カ月を目途にお返事をする形を取らせていただいております。私ができるだけお答えをいたしますが、専門的なものについては職員からお答えをいたします。私はできれば皆さんの顔を見ながらお話をしたいので立って説明をさせていただきますけれども、職員は手元に細かい数字などがありますから着座のまま説明する形をお許しいただいたらと思います。今日はご覧のように小学生中学生の方々も来られてますので90分間あまり緊張するとやっぱりしんどくなってしまうから、あまり肩ひじ張らずに前向きな垣生がよりよくなるための議論ができればと思いますので今日はどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

【男性】 まちづくり協議会準備会の会長を務めております。よろしくお願ひいたします。テーマとは違うんですけども、この私が会長を務めて

おりますまちづくり協議会の進展状況といいますか、状況報告という形でお話をさせていただいたと思います。今年の1月末に市長さんにもご出席をいただきまして、まちづくり協議会準備会が発足いたしました。本協議会の設立に向けて今現在取り組んでおるところでございましてけれども、私もまちづくりとはなんぞやというところから入っております、公民館活動をやればそれでまちづくりはできるんじゃないかという意見の方もたくさんいらっしゃいまして、果たしてこのまちづくり協議会はどう進めたらいいのかという思いが最初からあったんですけれども、私自身もまちづくりはこれだという返事ができない状況だったものですから、まちづくりについてやはり勉強しないといけないということで、今年の夏、まちづくりを進められて夕日で有名になった双海町、これを推進された若松進一さんにお越しいただきましてお話を聞きました。その中でいろいろ聞く中で3本のまちづくりには柱があると。とりあえず何がなくても楽しいことがないとまちづくりは進みませんよというお話をいただきました。楽しい取り組みをやる。そして今現在ある文化を継承、伝えていくのもいいんだけれども新しい事業も必要ですよという新しいことをやる必要がある。そして3本目の柱に美しいことが必要だと言われたんですね。この美しいというのは見た目の花を植えて美しいということもあるんですけれども、人の心を優しい美しい人づくり、これを美しいという範疇に入るというお話もいただきました。このようなお話をいただいて、まだまだもっとまちづくりについて聞きたいと会員の皆さんのお話もありまして、双海町の若松さんがつくっておられる人間牧場へ行ってまいりました。みんなで、役員の皆さんを連れて。現地でいろいろまたお話を聞いて今現在まちづくりについての認識を深めるといいますか、何とか本協議会の設立に向けて取り組んでいると。その中でもう一つ必要な人材はこういうのがあるよって若松さんから教えていただきました。まずは「よそ者、若者、ばか者」この3本が必要だっというんですよね。私は根っからの垣生人ですのでよそ者にはなれませんが、結婚されてこちらへ移ってこられた方、移転、転居されてこられた方とか、よそ者言い方は悪いんですけれども。それから若者、年寄りぎりが進めてもなかなかまちづくりはうまくいかないという思いもありましてこれも必要だろうと。ところが私はこの二つには参加できませんですね。よそ者でもない若者でもない。ところが最後のばか者にはなれるかなと。ばかになってまちづくりを進めていく、これも夢中になってやる意味かなとも考えておるんですけれども、そんなことを考えながら垣生のまちづくりを進めていきたい。そんな思いで現在いるところですが、最終的には若松さんがまちづくりに取り組むようになったきっかけ

け、双海町をよそのところへ行っても誰も知らない。この双海という名前が売り出したいといいますか、夕日で一番になったわけなんですけれども、松山市の中でも垣生というものが語れる。それは一朝一夕にすぐは全然無理だと思うんですけれども、将来的に子どもたちや若者がよそへ行って垣生とはこういうとこだよ、住みよいところだよとか何か特徴のあるまちづくりができたらいいなと思いつつながら現在進めておるところでございます。事業的にはまだ何にも決まっておられませんし本協議会もまだ設立できておりませんが、設立をして現実に事業を推進する段階では財政的な面とか、もろもろご協力をいただいたらと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【中学生】 これからどんどん進学してくる垣生小学校などの生徒がどんどん増えてきているので、校舎をもう少し増やしてほしいと思います。

【生涯学習政策課長】 ご意見ありがとうございます。教育委員会の生涯学習政策課の津田と申します。よろしくお願ひいたします。今、全国的にもまた松山市全体見ましても、確かに子どもたちの数はどちらかというところ減っているところあるんですが、垣生地区はその中でも安定しているとか増えている校区の一つです。おっしゃるとおり小学校の校舎、教室が狭い使い勝手が悪くなってお話も聞きます。中学校もできてからもう30年近くたってる校舎ですから、なかなか皆さんの思ったような使い方できないかもしれません。ただ校舎を増設するとなりますと敷地の問題とか、どの校舎をもう一度建て直して例えば5階建てにすると色々な計画をしていくことが大事になるんですけれども、今、実は松山市の教育委員会の中で一番重く工事をする対象と考えているのが建物の耐震、小学校校舎とか中学校校舎とか公民館の本館とかそういうところを第一優先に考えています。皆さんの安全安心という立場で。それが平成29年ぐらいで大体全部が100%になるかと思っておりますので、その次の改修工事のときに、そういったご意見を踏まえてまいりたいと思いますので、よろしくご理解してください。お願いします。

【市長】 はい、もうごもっともだと思います。お金がいくらでもあれば、わかった、やろうって言えるんですけれども、中四国の中で比較的松山市の財政はいいとは言われているんですけれども、決して油断ができない状況なのです。ですので、今やらなければいけないのは小学校、中学校という将来を担う子どもたちが特に長い時間を過ごす場所です。そしていざというときには避難場所にもなる場所なので、そういうところが耐震化できてないといかんだらうということで、まずは小中学校とか、公民館もそうですね、また消防のポンプ蔵置所もいざ出動しようと思っても出動で

きんかったらだめですから、そういうところからまずさせていただいてるところです。今そういう状況にありますのでご理解いただいたらと思います。

【小学生】 村上霽月（せいげつ）邸が垣生小学校の近くにあるんですけど、その中に入ったことがないという人がたくさんいます。その中に入ることによって、よりもっと垣生の文化に親しめると思い開けてほしいなと思いました。

【市長】 さすがよく知ってるね、村上霽月さん。俳句で有名な人だよ。はい、これについてはどうなりますか。

【生涯学習政策課長】 垣生には村上さんをはじめ、先般も東京で句碑もできました、俳人の石田波郷さんが輩出されています。村上霽月さんのところですが、私も担当の課に確認させてもらうべきところですが、私の知る限りにおいては確か今個人のお家になってるかと思しますので、個人のお家の方が許してくれればいいんですけども、頻繁に皆さんが行くようになると大変かなって思います。ですからそのあたりまた学校授業とかで改めて皆さんが行くような機会があるんでしたら教育委員会としても一緒にお話はしたいと思えますけれども、今日行きます明日行きますと言ってもなかなか受けてくれないと思えますので、そのあたりだけわかってくださいね。

【市長】 すごくいいアイデアだと思います。やっぱり地元の人たちが俳句に小学校のときから興味持ってくれてるっていうことだと思いますので、すごくいいと思います。また垣生でいうと伊予絣もそうですよね。私も皆さんよく御存じのように夏場は伊予絣のクールビズを着ておりました。あれは去年いただいて去年今年と着させてもらってますけれども、あれは粋に感じたんですよ。伊予絣の組合さんができたら皆さんに伊予絣をもっと使ってほしいということをつくって来られました。でも伝統芸能ですから全部伊予絣になると値段が上がっちゃうんでしょうね。ですから襟の部分とか胸元とか袖口に伊予絣が入ったワイシャツ持って来られて市長さん着てくれませんかかって言って来られ粋に感じまして、私「たからみがき」のまちづくりをしているものですから、伊予絣は宝だと思いますので、夏の期間は着させてもらっています。そうやって伊予絣も皆さんと一緒に宝を磨いていきたいと思えます。そこで私から提案ですけども、皆さんからご要望があったらせつかく垣生は俳句が有名なので、松山市の観光俳句ポストがあるんですね。確かまだ垣生地区には観光俳句ポストないと思えますので、俳句ポストは投函していただいたら3カ月にいっぺん回収して優秀作に選ばれたら松山市が定期的に出している句集の中に句が

入ります。そして記念品もプレゼントされるものです。今、100を超えてあるんですけども国外ではベルギーのブリュッセルとドイツのフライブルクにあります。また地区で欲しいなっていうことがありましたら言っていただいたらと思います。よろしくお願いします。

【男性】 先ほど来、問題点を市長さん自身がお答えになったのは非常に我々もよくわかってほんとはよかったです。排水の水たまりの問題ですが、部分的に対策をとられておるんでその点は非常に感謝するんですが、水たまり自体が少なくなってきました。水たまりがあるところはもう宅地になったりして元の海側の排水自身を海側へ出す、そういう根本的な対策はとる予定はございませんでしょうか。

【市民部長】 市民部の吉野と申します、まず浸水の原因は浸水の箇所ごとにいろいろ多様でありますので、具体的な場所があれば浸水箇所ごとに原因を調査して対応はしていきます。ここのあたりのことは御存じみたいですけども、それで海側に流すポンプは現在のところ住吉神社前のポンプ設置工事の発注準備を行っております、来年の梅雨時期までの完成を目指しているのが現状でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

【男性】 根本的な対策をしていただかないと水がもうすぐに上向いて逆流するわけですね。水たまり自体が昔は潮たまりいうて大きな潮がたまる場所があったんですよ。ずっともう一回やってできたりしてずっと減ってきてます。その点昔の潮だまりの状態と現在の状態とは変わるといいうことを頭の中に入れて三津なんか根本的な対策をして非常に効果があがるといいうことを聞いてます。その点よく調べておいおい水たまりが少なくなってくるのが実情です。よろしくお願ひいたします。

【市長】 今日勉強のために下水道政策課長が来ておりますので、下水道政策課長から補足で説明をさせていただきます。

【下水道政策課長】 確かに垣生地区、大きな河川、洗地川と三反地川二つの大きな河川がございまして改修を進めておりますが、洗地川はかなり進んでおるんですけども、三反地が根本的にまだ解消をいたしておりません。そういう中で住吉神社とパルティのフジの前あたり、この2カ所が今顕著に浸水があられておるといいうことで、三反地川の改修を抜本的にやらないかんといいうことで今全体的な計画をつくっておるところでございます。住吉神社は排水エリアが非常に小さいので、たちまち通学路といいうこともありますので緊急的にやろうと。残りは時間をいただかんといいう河川全体を検討し直すといいう時間が要りますので、今しばらく時間をいただきたいといいう状況でございます。

【市長】 地元の議員さんからもこの話はよく聞いております。就任以来

取り組まさせていただきます。今年度浸水対策実施設計業務委託を発注しまして、今後さらに排水計画の見直しなどを行って、浸水被害の解消、軽減に努めていきたいと思っておりますので、まだこれで終わりというものでもなくて、これから設計をしてまた次につなげていくという形ですので、引き続きやってまいりますのでご安心いただけたらと思います。

【男性】 石手ダムの放流について、意見をさせていただきたいと思えます。余戸の出合橋からその近くの塩屋橋周辺、河川敷で野菜をたくさんつくってます。私もその中の一人ですが一昨年大きな水害がありまして、当然作物も流れるんですけど農機具も全部流れました。また今年梅雨明けにそういうことがありまして、大量のごみが畑に打ち上げて大分苦労しました。大雨が降って冠水するのは仕方がないんですが、大雨のときにたまたまダムを放流してその波及で畑が冠水して荒れるというのが例年の繰り返しのようなので。雨で水が増えたときにダムを一挙に放流したら川下でどうなるかは、管理される人はわかってるはずなんですが、どうもその繰り返しのようなのでその辺のご意見を聞けたら聞きたいと思えます。

【都市政策課長】 都市整備部都市政策課の松本と申します。石手川ダムは国の松山河川国道事務所の担当になりますので、今のご意見についてはちゃんとお伝えをさせていただきます。ダムは当然ダムの貯水量が予め決まっておりますので、当然大雨が降った場合にそれを超えることができませんので事前にサイレン等鳴らして放流をするようにどうしてもなります。その中で放流量等どうしても大雨が降った場合、量が増えることがございますので、どういう調節ができるかを含めてお伝えをさせていただいたらと思いますのでご理解いただけたらと思います。

【小学生】 学校のことなんですけど、今年も児童数が増え学級が一つ増えました。そのため特別教室が一つ減り、外国語教室と児童会室を同じ部屋で利用しています。来年はまた1年生が一クラス増えそうです。このままでは児童会室がなくなってしまいそうです。垣生小学校はオープンスペースもなく教室が足りないので、ぜひ教室を増やしてほしいです。

【生涯学習政策課長】 そのとおりだと私も重々わかっております。先ほども言いましたけど、垣生小学校もデータ取って調べてみたんですが、23年・24年・25年と児童は結構増えているようですね。垣生にかなり皆さん集まっているのかなと見受けられるんですけども、そうした中、先ほど中学校のお話もさせてもらいましたけども垣生小学校がほかの学校と対比して特に狭いわけでもないんですけども、クラス数が増えますと、どうしても今クラスとして使っていない部屋、例えば今言いました児童交流の部屋ですとかそういう部分をまた何年何組ってという形になって増やして

いかなければいけません。新しくクラスをつくるってことは建て増しをするということになるんですけども、先ほども言いましたけどまず耐震、垣生小学校も去年もやって今年で最後かと思うんですが耐震工事をしてからそのあとという形になりますね。クラスの編成であるとかそういう交流の部屋をつくるとか、そういうところでございますので皆さんの気持ちは重々伝えておきますので、今のところはどうか辛抱して譲り合って使っていただければありがたいです。お願いします。

【市長】 ごめんなさいね。私の立場としてもわかったじゃあ建てよう、土地がないんだったら土地を買って建てようとかできたらいいんですけども、なかなかそうもいかない状況なんです。学校でも勉強で出てくるかもしれないけども、松山市があるでしょう。愛媛県がありますね。日本がありますね。国の財政があるんですけど1千兆円の赤字を持っているんですよ。これ日本の人口で割り算すると一人あたりどれぐらいの借金になるかが計算できると思うんですけど、国から地方にお金が配分されてくるんですね。地方交付税交付金とか国庫支出金っていう形で地方にお金が回ってくるんですけど、仕送りと同じですよ。家の実家が苦しいなあってなったら、仕送りがこれから増えることはとても考えにくいですよ。限られたお金の中でやっていかないといけないんですよ。教育だけじゃなくて例えば道路のこともあるしごみ処理のこともあるし松山市は色んなお仕事があるでしょう。決まったお財布の中からお金を配分していかないといけないのね。今、難しいのは昔は高度経済成長って日本の景気もどんどんよくなっていく、人口もどんどん多くなっていく時代があったんやけど、そのときにいっぱい建物をつくってるんよね。建物つくったし道路もつくったし下水道もつくったし上水道もつくったし、上水道とか下水道もあまり地震に対する対応ができてなかったのよ。昭和56年にその耐震基準って変わるんよ。56年からあとのものは地震に耐える構造になっている。だから56年から前のものは耐震しないと危ないんよね。垣生の公民館は昭和58年、新しい耐震基準になってできている。そういうことなんよ。これから人口もおそらく日本全体として減っていく。働いてくれる人が少なくなっていく。そういう中で何にお金を今使わなくちゃいけないのか。お金がないから何もやりませんじゃなくて、皆さんの声をよく聞かせていただいて今、後手踏まないように何をせないかんのかを、おいさんたちは悩みながらやっているところです。声はよくわかりますのでご理解いただいたらと思います。

【男性】 既存の公園についてですが、東垣生は空港周辺にいろいろ買い上げられたあとに公園がたくさんできているんです。南側の重信川周辺に

は公園がないということで、4年前に一カ所公園をつくっていただきました。ただこれができるときのいきさつが、災害時があったときの避難場所の意味も含めてということがあって、遊具が簡単なものが何カ所か置いてあるだけなんです。いろいろ開園したあと利用者の皆さんからもう少し充実したというか高学年者も使える遊具を設置してほしいという声が出まして、公園ができて2年後ぐらいに公園緑地課にも話をしたんですが、公園ができてばっかしにまた設備を補充するわけにいかないので、ちょっと待ってくれんかということもあって、もうちょうど来年の3月で丸4年がたちますんで設備の補充という点でご配慮いただいたらと思います。

【都市政策課長】 都市整備部都市政策課の松本です。東垣生南公園につきましては経緯も含めて今お話していただきましてありがとうございます。公園は一時避難場所ということもございまして、遊具を少し少な目に設置をさせていただいております。現在、松山市内には300以上の公園を公園緑地課が所管をして管理をしております。地域の皆さんに公園管理協力会で東垣生南公園もほんとにきれいに管理をしております感謝申し上げます。遊具はたくさんの公園が現在ございますので、そういったところからいろいろとご要望もいただいておりますので、充分検討させていただいた上で、またさせていただくということでご理解いただいたらと思います。

【男性】 私、子どもから話を聞いたんでは雨の通学のときと、日和の通学のときの通学路が違ふと。雨が降ったらその道は通られぬので遠回りせぬかんと。日和のときやったらそこを通ってもかまんということになつとるらしいので、1年から6年まで通うのはかわいそうだと思うですよ。それがどうしてかというとき雨が降ったらいかんところは狭いんで傘がさせぬのです。こちらに木があるんで境の垣があるんですね、それで傘がまがって子どもがそこを通ったらぬれてしもて初め何しよつたらしいんです。

【市長】 私から質問で、それは木が生えとんのは民家から出てる木ですか。

【男性】 境なんですけど。道が狭いんですよ。何であんなところ通学路にしたんかと私は思うんですけど。今までそんなこと言いよらなんだらしいけど、順々にそこを通る子が多くなってきてそういうことを私聞いたんです。それはかわいそうなのと。何とかこれ今日は言わぬかんと思つて。

【生涯学習政策課長】 ご意見ありがとうございます。また詳細な場所を後ほど地図で教えていただけて、確認を取らせていただけたらと思うん

ですが、つけ加えになるんですが通学路は学校またPTA、地域の皆さんがこの道なら車の進入もそうないから子どもたちも安全だろうという形で選んでいる経緯もあります。今の話ですと雨が降ったらそこが通れないのだったら、また通学路の意味が違ってくると思いますので、そのあたりも含めてまた学校とも確認はしたいと思います。

【男性】 通路の水たまりができよったのは水がはけるようにしたらいいんです。

【市長】 じゃあ木のこともまた教えていただいたらと思います。よろしくお願いします。

【男性】 社会福祉協議会ならびに民生委員をしております。よろしくお願いします。今日は私の意見を言わせていただくんですが、狭あい道路。狭い村の中にある道路と考えてください。この件について意見を言わせてください。この垣生地区は御存じのように東垣生・西垣生に分かれています。東垣生は空港対策等々で大きな道ができました。西垣生は戦争中も被害に遭わなくて現在に至っておるわけで、聞くところによると松山市では狭あい道路の5本の指に入っていると聞いてます。昔でいいますと今出町、今出村なんですけども。この間もずっと回って見たんですが、外郭の部分については結構道路がつきつつあって人家もあります。ところが中の部分は狭あい道路があるもんですから若い人たちが住まない。どんどん若い人たちが郊外へ出て今は中はほとんど若い人が少ないです。先ほど色んな話がありましたが、鍵谷カナさんから始まって霽月さん、それから石田波郷。そういう文化の都市であるんですけれども、今後を考えたときにやっぱり道路なくしてはまちがよくなるだろうということで、平成20年10月1日から狭あい道路の事業として松山市取り組んでますけれども、それ以前に家を建てたところがまだ道路ふちに石を置いたり、花壇にしたり。もっとそこら辺になりますと災害とつながりますんで、空き家・空き地。確かに狭あい道路の政策としては新しく家が建ちますと中心線から2メートル後退となるわけですけれども空き家がいつまでも続いたらいつまでも道路はよくなれないと考えられますので、一生懸命努力していただいておりますけども、やっぱり市民と行政と一体となって進めなきゃ何百年たってもよくなるじゃないかという気すらします。この辺について今後先輩として地域にいいまちを残してあげたい思いで発言させていただきました。よろしくお願いします。

【都市政策課長】 都市政策課の松本と申します。狭あい道路の整備について詳しく説明をしていただきましてありがとうございます。大変詳しいと存じます。まず狭い道路、西垣生町でも皆さん御存じのとおりでありま

す。一つは平成20年からは、都市整備部に建築指導課があって建物、住宅を建てる時には道路を後退して建物を建てていただくと。その場合には松山市の費用で測量や分筆・所有権移転まで道路部分について寄附をしていただく手続きをしております。それ以前は、例えば松山市の市道に面しているところは以前建築後退で下がられた部分は松山市の道路管理課で市の費用で現在年間大体300件ぐらい寄附をいただいて市の名義にする手続きをしております。建物を建てる時には皆さんやはり将来のことを考えていただいてちゃんと建築後退をして将来的には4メートル以上の道路ができるということでご協力をいただきたいと思いますので、そういった場所がございましたら建築指導課あるいは道路管理課に連絡をしますのでお伝えいただいたらと思います。

【市長】 松本課長、騒音対策活性化協議会で西垣生も対象地域に入ってるんじゃないんですかね。

【都市政策課長】 空港周辺の地域活性化事業対象の区域は東垣生だけではなくて西垣生の一部もかなりの面積入っております、東垣生、西垣生、余戸、南吉田と。この区域で全部じゃないんですけれども空港の周辺の対策で道路の整備だけじゃなくてほかもあるんですけれどもそういったこともしております。

【市長】 私から空き家対策のことが出ましたので補足をさせていただきます。北条の沖にある安居島に行ったときに廃屋を見ましたもんですから改めて指示をしたんですけど、空き家対策、人口の多い松山でも問題になってきています。今、放置するのではなくて所有者や管理者を特定して文書で改善指導をさせていただいたり、定期的に訪問指導をさせていただいたり、電話連絡を行うことで事故防止に努めています。難しいのは廃屋であっても個人の所有物なんで市が勝手に改修したり撤去することは基本的にはできないんです。でもそれで何もできないではいけませんので、今年の5月に関係する部局で空き家対策の庁内のワーキンググループ、作業部会をつくりまして、今ルールづくりや条例を新たに制定することなど空き家対策全般について検討しているところです。どうぞ心配な空き家がありましたら建築指導課が担当になるんですけれどもご連絡いただいたらと思います。よろしく願いいたします。

【男性】 今の空港対策のことなんですが、私空港対策の関連の委員をしてましてちょっとだけ説明をさせていただきます。東垣生は全域が空港対策の活性化事業の地域に入ってますが、西垣生は大体北半分が対象地域になってます。ここの道路広げたらいいなとか、ここ道路つくったらいいなとか市の空港港湾課といろいろお話をして知恵を出してもらったりして

進めてるんですが、やはり個人の土地なのでなかなか提供してくれない。今、市長さんがおっしゃったようにどうしても個人の同意があるのでなかなか進まないのが西垣生の実情です。空港港湾課も知恵を絞っていろいろ提案していただいたりしてるんですけども、なかなか今のところは候補地はたくさんあってそこについてはいろいろ話をしてますけども、どうしても私有地なのでなかなか話が進まないのが実情です。

【小学生】 垣生小学校には児童用の本がまだまだ少ないようなので借りて帰って読んだり、読書タイムの時間にはもっといろいろな本を読んだりできるようにたくさん本を置いてほしいです。

【生涯学習政策課長】 本は学校の先生にこんな本が欲しいとお願いしていただければ、取りまとめてという形になるんですけども教育委員会で学校長から要望を聞きまして限られた予算はあるんですけども各学校の図書館に置けるように毎年やっていますので、また担任の先生にこんな本が欲しいと申し出てください。よろしくお願いします。

【市長】 垣生小学校は図書の本が少ないんだそうです。数年かけて今重点的に図書の整備をしているところです。ですので要望は結構通りやすいかなと思います。読みたい本や興味のある本があれば担当の先生に伝えてください。お願いします。また公民館にも図書館があるところがありますね。お伝えしておくんですが皆さん公民館の本は読んでいただければ読んでいただくほど、貸出ししてもらえば貸出ししてもらえらるほどそのお金が配分されることになっています。この間、清水地区でタウンミーティングをやったんですが、清水公民館は利用の状況がよかったので確か年間21万円に増額をして配分されています。公民館に本があるようでしたらどんどん借りていただいたほうが新しい本も借りていただきやすくなるということです。やっぱり利用が少ないところはあんまり人が来ていないのかなあとということになって、無駄なお金を突っ込むこともなかなかしにくいですから、それもしたくないのどうぞお借りいただければと思います。よろしくお願いします。

【男性】 重信川沿いの道が夜非常に暗いのでウォーキングするのに危険が伴うので街灯をつけてくれませんか。

【市民部長】 市民部の吉野です。どうぞよろしくお願いたします。灯りをつけるのは街灯とか防犯灯とかありますが、私どもは防犯灯の説明をさせていただきます。堤防の上の道は国の管轄になります。それで松山河川国道事務所にお問い合わせいただくことになるんですけども、設置ができるかできないか確認が必要でありますので、終わった後にこのあたりという場所がありましたら。国の管轄ではありますが例えばすぐ下の道

で市道という可能性があるのでどのあたりにということをご要望いただければと思いますので市民参画まちづくり課にお問い合わせいただくことにはなるんですけれども、できましたら今日終わりました私どもに場所を教えていただけましたらあたることもできますのでどうぞよろしくをお願いします。それと基本的に防犯灯は松山市防犯協会が設置はしますが設置した後の維持管理や経費は地元で持っていていただくことになっておりますので、防犯灯をつけてほしいということがありましたら、まず場所の確認も必要なんですけれども色んな要件もありますので地元の町内会長さん等にご相談していただけたらと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。

【市長】 吉野部長、防犯灯はなぜ地元で管理していただいているかを補足説明してください。松山市冷たいじゃないかと思われるかもしれませんのでそのあたり補足してください。

【市民部長】 自主防犯的な考え方で自らのまちは自らで守るという合言葉にしまして、町内会自治会が地域内の生活道路などで夜間の犯罪とか犯罪や事故を未然に防止するために防犯灯の管理を行っていることで、自主防犯の立場から維持管理は住民の皆さんにご負担をいただくことになっております。どうぞよろしくをお願いします。

【市長】 実は松山市には防犯灯3万灯あります。これを全部松山市が設置、管理しますとなると3万灯見るのはなかなか大変なことです。ですので地元の方に見ていただいたほうが、防犯灯あそこ切れとったよとか防犯灯ここにつけたほうがいいんじゃないかなというのはよりきめ細かくできると思います。そういったことから地元をお願いをしているところです。防犯灯はこんな意見もありまして、とにかく明るけりゃいいんじゃないかというところもあるんですが、実は難しいのが農業をされている特にお米、稲を栽培されている方はずっと灯りが照っていると稲の生育には悪いんだそうです。だから設置の場所もある程度選ばないといけない部分がある。補足ですが今、川沿いの街灯のことが出たんですけども、重信川は国が管理している河川です。全部の川を国が管理しているかというところではなくて県が管理している河川もあれば市が管理している河川もあるんですね。どこの川を国が管理してどこの川を市が管理して県がしてってわからないですよ。大体国道はわかるかもしれませんが県道がどこで市道がどこでとなるとわかりにくいですよ。でもワンストップです。この辺につけてもらったらええんじゃないかなあというのは我々に言っていただいたら国につなぐこともできます。実は市長への直接のメール制度が松山市あるんですけども、確か余土地区にお住まいの方から子どもが松前のス

ポーツの団体に入っているんだけど、重信川沿いを通って練習に行くんだと。暗いのでちょっと心配なんだ、市長何とかしてくれんかというわがまちメールが来たんですけれども、重信川になると国の管理になるんですよね。基本的に川・堤防は国のスタンスからすると、できるだけ障害物はつくりたくないのが基本スタンス。それは洪水になったときにそこにつかえてしまってそこから堤防が切れるとか、川の流れが変わるとということが理由のようです。それも確かにわかるような気がします。ですけれども要望すればうまく通る場合もあるかもしれませんので、これについては把握をさせていただきたいと思います。

【男性】 今後の公園のことについてですが、どこの公園もバットを振ったらいかん、キャッチボールをしたらいかんというようなことなんですね。我々子どもころは近所で野球してボール打ったらガラスが割れたこともあって怒られた記憶もあるんですが、もう少し子どもたちがボールを蹴ったりあるいはキャッチボールをするような公園も、というのは特に東垣生は空港騒音の絡みでいろいろ畑だとか宅地が国なり県なり市の買い上げられた敷地がものすごいあるんですね。この今年の9月末に申請のあった分は2年後まで買い上げますよということで、ここ最近見たらまたその家が立ち退いたりあるいは田んぼが売却され空き地がどんどん増えてるわけですけども今後のことを考えて再開発をどう進められるかというときに、できることなら子どもたちがそこでキャッチボールしたりあるいは野球あるいはサッカーしたりする公園というかグラウンドもあつたらいいんじゃないかと思います。これは今後のことについてです。

【市長】 私も子どもときは清水小学校区でしたけれども空き地がありましたのでよく毎日バットとボール持って空き地でキャッチボールや野球をしておりました。今の子どもたちにもそういうことをさせてあげたいなと思います。今、平成18年からキャッチボールのできる公園づくり事業をやっていまして、毎年1カ所ずつですけど増やしています。平成18年度に平井公園、平成19年度に北条河野別府公園、平成20年に中野公園、21年に久万ノ台緑地公園、22年に堀江中央公園、23年には福音公園、24年には白水台北公園、25年には10月16日にできました古川公園です。今こうやって増やしているところなんですけども垣生地区内でどこができるかという、空港東第二公園と空港東第三公園が垣生地区ではボール遊びのできる公園です。これも難しいところなんですけども、こういうボール遊びのできる公園を増やしてくださいというメールやお声もいただくし、公園の側に住んでいる女子中学生さんのご意見、メールでいただいたことあるんですけど、私は公園のそばに住んでいますと。ほ

んとはボール遊びしたらいかんのやけども、サッカーのボールとか野球のボールが家に飛び込んで勝手に取りに入ってくるんですと。何べん注意してもそれが改まらないんで何とかしてくださいみたいなメールが来たんですよ。中にはそういう方もいらっしゃるんです。そういう中で公園が成り立っておりますので、なかなか進みにくいところもあります。そういう現状です。

【都市政策課長】 ボール遊びができる公園は市長からの話のとおりです。現在松山市が空港対策で農地を買い上げている土地がたくさんございます。皆さん御存じかと思いますがそういったところを管理している市の空港港湾課がそういった土地について今後どういう活用ができるか現在検討をしておりますのでよろしくお願ひいたします。

【男性】 要望ですけれども現在東垣生の公園がございまして、そこは季節がよくなりますとたくさん公園に遊びに来てるんですけれども、トイレが、普通洋式と和式とございますけれども、現在自分の家では洋式になってると思うんですよね。ところがその公園のは和式なんですよね。それも1メートルくらいある長さが、子どもだったらまたぐのに落ちそうな気がするトイレなんですよね。我々高齢クラブはトイレの掃除は受け持ってやってるんですけれども、子どもたちが遊びに来て特に大便の場合は男女も問いませんので洋式に検討して頂けたらと要望しておきます。お願ひします。

【市長】 はい。それではお帰りのときに地図でお示し頂ければと思います。よろしくお願ひします。このトイレの洋式化は私防災士の資格を取らせてもらったと申し上げたんですけれども、すごく大事なことだと思っています。これ防災士の資格を取るときに教えてもらったんですが、大きな災害が起こって仮設トイレを利用しないといけなくなった場合、仮設トイレって今、和式トイレがほとんどなんですよ。和式だと高齢の方とか避難所生活が長くなってくると足にきますね。そうすると和式だと行きたくなくなるなあとなると便秘になったりとか体調壊すことにもつながっていくんで、仮設トイレも洋式トイレをできるだけ確保するように指示を出したところなんです。ですので、どこの場所をしても洋式化は大事なことだと思っています。ただ財源のことがありますので一足飛びにできればいいんですけども、なかなかそれが難しい状況にあるところですので、お金と睨みながら何を今一番にやらなきゃいけないのか、何を先にやらなきゃいけないのか総合的な判断をしながらやっていきたいと思っています。

【小学生】 外国の小学校と交流がしたいです。またそれはどのようにできますか。おすすめのところがあれば教えてください。外国の小学校と交

流することによって日本の文化だけではなく外国の文化が学べます。そのことによってよりよい垣生小学校をつくることができると思ったからです。

【生涯学習政策課長】 はい、素晴らしいアイデアです。今、新聞などでもいろいろ取りざたされておりますけども小学校においても文部科学省では英語教育の充実を考えようとなつています。そこで今のお話でございますが、松山市では外国の小学校と現に定期的に交流をしているのは、さくら小学校があります。これはアメリカのサクラメント市にマツヤマ小学校がありますのでそことさくら小学校が定期的に交流してます。時差があつて例えばここ日本が昼だったら外国は夜だったりあるんですけども両方が合う時間にインターネット交流で画面にハローとかいう形で向こうの子どもたちがこちらに呼び掛け、こちらの子もたちが向こうのサクラメントの子どもたちに向かって呼び掛けると。そういうやり取りをする中で日本の文化とか松山の文化を紹介する機会も設けています。外国の実際小学校と交流したいという話になりますけども、例えば学校の先生に一度相談していただきたいとは思ふんですけども、現実の一つのきっかけでいうと姉妹都市が松山市にはあります。ドイツのフライブルク市、環境都市で有名ですけども。そして韓国の平澤（ピョンテク）市もあります。平成16年に友好都市提携を結びました。そして先ほど言いましたアメリカ、サクラメントのマツヤマ小学校、こういうところが候補の都市としては挙がるのかなと思ひますが、一つのきっかけはやはり皆さんの思いが学校の先生の協力なしにはなかなか進まないかなあ。生徒さんだけではインターネットの環境だとかそういったのも難しいでしょうし厳しいところもあるんですけども、一度学校の先生に相談して頂ければいい方向が見えるかもしれません。もちろん文通というスタートでもいいと思ふんですよ。インターネットにこだわることはないと思ひますから。またいろいろ何かあつたらご相談ください。お願いします。

【市長】 中学生になったら姉妹都市のアメリカのサクラメント市とドイツのフライブルク市と友好都市の韓国の平澤市に10人15人ずつぐらい夏休みに一週間くらい行くのが昔からあるんですよ。私が子どものときはまだなかったけども30年前ぐらいからやってる事業があるんですよ。中学生になったらそれに応募もできますよ。海外に行ったらすごく視野が広がると思ふのでいいと思ひます。またそういう情報も調べてみてください。

【男性】 西垣生高齢クラブです。近くに放置家屋があるんですが、人の住んでいない家です。行政で手を加えることができないのか、できないと

したならばどういう問題があるのか教えてください。

【市長】 わかりました。どうぞ地図持って来てますのでまた教えてもらったと思います。やっぱり難しいのは個人の所有物なんですよね。個人がお持ちの家になってしまうので住んでいないな、明らかにもうかなり長い間住んでいないなと思ってもあくまでも個人の所有物なので、こちらが勝手に撤去したりとか修理したりはできないんですよ。そういった理由があります。また地図で教えてもらったと思いますのでよろしくお願いします。

【市長】 皆さん今日はいろいろと手を挙げていただいてありがとうございました。最後重なったようですけど、質問できなかった方は先ほど申し上げたようにインターネットを使える環境の方は松山市のホームページに市長へのわがまちメールという制度があります。ここで意見を送ることができますし、もちろんハガキでも手紙でも結構ですので今日言えなかったなという方は言うていただいたらと思います。今日持ち帰らせていただくことについては1カ月を目途に地区にお返事をお返しいたしますので、そちらをまた見ていただいたらと思います。今日お気づきになった方もいらっしゃると思いますが、やっぱり行政だけではやれることって限られるんです。地元のご協力、民間のご協力があると進みやすい事柄も多々あります。車のタイヤと同じです。行政のタイヤだけ一生懸命回っても車は同じところを回るだけ。民間とか地元の方が一生懸命タイヤ回してくれとっても車は同じところを回るだけ。行政と民間、行政と地元のタイヤが一緒に回ると物事は前に向かって進んで行きやすい。さまざま皆様方にご協力いただくと前に向かって進みやすい案件も多々ございますのでまたご協力をいただけたらと思います。今日聞いていて嬉しかったのは地元の方からいいまちを次の世代に残していきたいんだというお話がありました。全く同感です。私、3月11日の東日本大震災の当日は松山じゃなくて東京に出張をしていました。震度5の揺れを感じました。あの日は東京で亡くなった方もいらっしゃるだったので私は命があっただけでもありがたいと思っています。結局、羽田空港のロビーで一夜を明かしました。席は全部埋まってましたので、地べたで新聞引いて寝て体にコートかけて寝たという貴重な経験をさせていただきました。防災対策には特別な思いがあります。ですから防災士の資格も取らせていただきました。財政のお話もしたんですけども、今来てくれている小学生や中学校の年代の子たちにもやっぱりこのいい松山を継続していかなくっちゃいけないと思っています。こうやってタウンミーティングさせていただいてますけども、私も人間ですから皆さんからこれしてほしい、あれしてほしい、これしてほしいって言わ

れたら、財政的な余裕があったらわかりましたそれやりましょう、これやりましょう、あれもやりましょうって言えたほうがそりゃ人間ですから楽です。でも今それをやってしまうと将来の世代が維持管理をしていくわけですから将来の世代にツケを残してしまうことになってしまう。だから皆さんの声に耳を傾けさせていただいて、そして今何をすべきなのか、後手を踏まないように後手にならないようにその作業をやっていきたいと思えますのでどうぞご理解いただけたらと思います。これからもこういう気さくな人間ですので、また何かあったときには遠慮なく声をかけていただいたらと思います。今日は長時間にわたりましてありがとうございました。

— 了 —